



お知らせ

○ 試験日
張所及び募集事務所
地方連絡部から応募者に直接
通知します。

サラリーマンの「年末調整」近づく

月給袋から毎月納めてきた所得税を精算する年末調整が始まります。これは、確定申告の替わりの役目をするものです。
サラリーマンの皆さんは、年末調整に次のような手続きが必要ですから用意しておきましょう。
一、扶養控除等の異動
出生・死亡・結婚といった理由で扶養者が増加、減少した場合や、就職・退職によってその人の年間収入が七十万円を超えたり、又はそれ以下になった場合は、扶養控除等の異動の申告を勤務先へ提出する。
このほか、勤労学生・老年者寡婦・障害者の各控除に該当する場合も、異動に注意を要します。

新潟県錦鯉品評会入賞者

- 昭和四十八年と四十九年に住宅を取得して確定申告をされた方には、税務署から「住宅取得控除証明書」が送られますからこれを勤務先へ提出する。
(注) 本年住宅を取得された方は税務署へ確定申告書を提出して控除することになります。(長岡税務署)
- 優勝 一部 五色 松田 正夫
 - 優優勝 二部 三色 広井 利信
 - 優勝 (小千谷市議長賞) 五部 三色 関 健了
 - 優勝 (県議長賞) 六部 ドイツ黄金 斉藤 勇司
 - 優勝 (長岡市議長賞) 五部 五色 星野 達雄
 - 優勝 (長岡市議長賞) 五部 五色 長島 弘
- 十月二十六日小千谷市内(小千谷市役所構内)に於いて。

第8回全日本総合錦鯉品評会

期日 昭和50年1月20日～26日
搬入受付 1月21日
審査 1月23日
一般観覧 1月24日～25日
表彰式 1月25日

会場 東京流通センター (TEL (03) 767-2111)
会期中 TEL (03) 767-2145～8

- ・出品申込みは11月20日から12月20日まで
- ・出品料は1点につき10,000円
- ・当日受け付けは手数料2,000円加算
- ・申込用紙は漁協又は役場でどうぞ。

頭部外傷の受診について

頭を打った時一番心配なのは脳に傷がついたかどうか、頭の中に出血があるかどうかです。小学生以上の人は自分で気分が悪いとかフラフラすると他人に訴えることが出来ませんが乳幼児は訴えることが出来ません。そこで医師へ連れて行くという様になる訳ですが、いつも診れる状態の医療機関は少くまた経過を観察していい場合も決して少なくありません。余程ひどい傷以外は大体次の様にして良いと思いますので、お知らせします。

- ① 出血を伴う傷のある時は医師へ。
- ② 打撲から三十分位静かにさせて、いつもと様子が異なるか様子を見る。(すぐに寝入ってしまった様子はすぐ医師へ)
- ③ 頻りに嘔吐してグッタリしている時、またはひきつけの時はすぐ医師へ連れて行く。
- ④ いつもと変らず元気にしている時は一晩位様子を見て医師へ(稀に元気にして内出血を

自衛官募集中

自衛隊では次の要領で自衛官を募集しています。なお、来春卒業予定の高校生も受け付けております。待遇も一段とアップされています。高い技術を身につけるよう奮ってご応募ください。

- 応募資格
採用予定月の一日現在十八才以上二十五才未満の男女
- 待遇
初任給七万三千七百円(衣・食・住・医は無料)
- 志願手続
志願書の請求及び提出先は役場又は自衛隊地方連絡部、同出

二、保険料控除

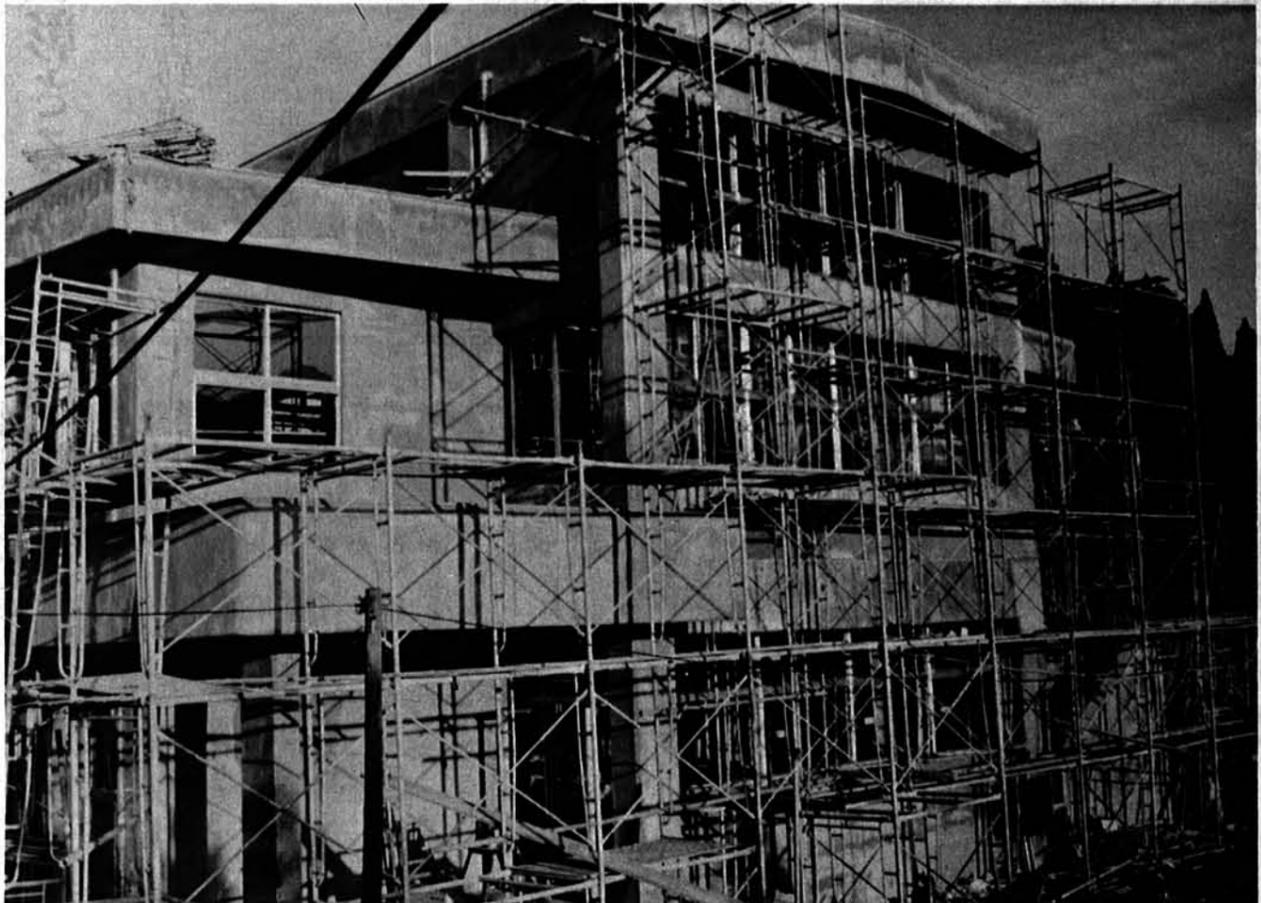
本年中に自宅を支払った社会保険料・生命保険料として損害保険料は、保険料控除申告書を勤務先へ提出する。
この場合、生命保険は一口九千円を超えるもの、損害保険はすべてについて、支払った証明書が必要。お忘れなく。

広報やまこし

1975 12/1 第90号

発行 新潟県古志郡山古志村役場
電話 竹沢局 17 23 78

印刷 大川印刷株式会社



近代化する竹沢保育所の完成も間近かに……

主な記事

- 永年勤続者など表彰
- 飲酒運転追放一〇〇日運動
- 国勢調査結果から
- 生活改善グループ紹介
- 除雪にご協力を
- 国民年金制度の改善
- 冬の交通事故防止運動

村の人口			
=11月1日現在=			
世帯数	977	男	2,047人
人口	4,093人	女	2,046人
出生	2人	死亡	3人
10月中の住民移動	(男0・女2)	転入	18人
		転出	5人
			(男7・女11)

文化の日に表彰さる

村政発展と永年勤続など十七名

村のほう賞条例にもとづく表彰式が去る十一月三日文化の日に役場の議場で行われ、次の十七名のかたが表彰されました。

十六年以上在職した者
 星野義栄（二丁野）

村の職員として二十五年以上在職し、誠実勤勉に精励した者
 坂牧清作（種芋原）
 草間清作（種芋原）
 菊入喜三郎（濁沢）
 佐藤誠一（下村）

○ 消防団員として二十年以上在職した者
 湯本徳一（種芋原）
 小川庄一（種芋原）
 坂牧正憲（種芋原）
 長谷川政治（種芋原）
 高野正太郎（間内平）
 小池彦衛（桂谷）
 関英一（油夫）
 青木毅（油夫）
 青木忠（油夫）
 関幸博（小松倉）
 増田博（小松倉）

飲酒運転追放100日運動

年末年始の飲酒運転防止



師走の声を聞くと、街のざわめきになんとか心が浮かれ、はやばやと忘年会の計画をたてたり、親しい友と「チョットいっぱい」と酒をくみかわしながら語り合うという機会が多くなります。

このように、酒はうれしいにつけ、悲しいにつけ、私たちの生活に深くつけこんでいます。客を気持ちよく迎え、そしてもてなすことがつきあいを深めることになるというものの、車が広く使われるようになった現代では、好意の表わし方も相手の立場になって考えてやらなければなりません。

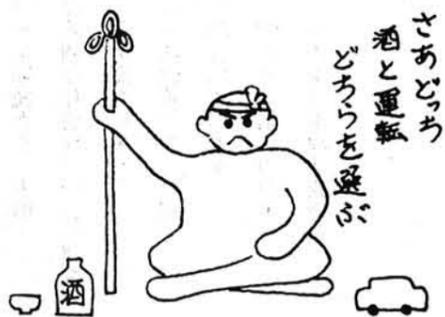
車を運転してきている人に
 ○ 久しぶりに来たのだから
 ○ 祝い酒だから
 ○ つきあいではないか
 ○ 少しくらいなら
 などと酒をすすめることは、もてなしにならないだけでなく、かえって相手に迷惑をかけることにな

酒酔い運転

違反者の氏名公表を実施

酒酔い運転違反者及び事故を起こした酒酔い運転違反者の氏名は広報紙に公表されます。氏名公表の趣旨は、当県における飲酒運転事故率がきわめて高いことから、県民の中に飲酒運転を許容しないという厳しい意識を定着させることが真のねらいであります。

村内からは一人の公表者もださないよう家庭も職場も地域ぐるみで飲酒運転追放の正しい社会習慣を確立しましょう。



「酒と車の運転を結びつけてはならないのだ」という意識をみんなが持ち、正しい習慣づけが行われるように努力しましょう。飲酒運転をしようとする人には、勇気をもって注意しよう。飲酒運転は、一度行われると少しくらいの酒なら大丈夫だ。取締りにあわないところを通ればよい。など勝手な理屈をつけて段々と回数が増えて行くものであり、大きな事故へと進む危険性もあります。

飲酒運転をしようとする人を見かけたときは「車の運転はやめなさい」と勇気をもって忠告しましょう。

気まづくなるからと注意をためらうところに運転者の甘えが生まれ、飲酒運転がくりかえされることとなるのです。

運転者の自覚をうながすためにも、家庭・職場などを含めた地域・社会の全員が協力して、「飲酒運転はぜったいにさせない」という強い決意をもって、悪い芽は早めにつみとってください。

五年間に五百五十人減少

世帯数は九百七十二に

国勢調査結果から

十月一日現在で実施された昭和五十年国勢調査による人口、世帯数がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

調査によると村の総人口は三千八百九十六人で、五年前の昭和四十五年に比べると五百五十人の減少です。

少で、一年当り平均百十人づつ減ったことになりました。また、十年前に比べると千三百九十人減少しています。

いっぽう世帯数は千台を割り、九百七十二世帯となり、五年間に三十五世帯の減少で思ったより少

く、また、一世帯当りの平均世帯人員は四人となっています。（別表のうち昭和五十年の数字は概数であり、後日総理府統計局で公表するものと異なることがあります。）

部落別調査の結果 (概数)

	人口				世帯数			
	昭和45	昭和50	差引	増減率	昭和45	昭和50	差引	増減率
種芋原	1,355 ^A	1,127 ^A	△ 228 ^A	△16.8%	301	284	△ 17	△ 5.6%
虫亀	860	774	△ 86	△10.0	195	190	△ 5	△ 2.6
池谷	229	205	△ 24	△10.5	49	45	△ 4	△ 8.2
櫛木	186	157	△ 29	△15.6	46	41	△ 5	△10.9
下村	198	220	22	11.1	56	60	4	7.1
二丁野	189	176	△ 13	△ 6.9	39	38	△ 1	△ 2.6
向田	51	39	△ 12	△23.5	9	8	△ 1	△11.1
間内平	133	137	4	3.0	30	30	0	0
菫蒲	49	47	△ 2	△ 4.1	11	11	0	0
山中	73	75	2	2.7	14	14	0	0
油夫	118	121	3	2.5	28	37	9	32.1
桂谷	220	185	△ 35	△15.9	50	49	△ 1	△ 2.0
梶金	197	158	△ 39	△19.8	43	37	△ 6	△14.0
大久保	145	124	△ 21	△14.5	30	30	0	0
木籠	201	162	△ 39	△19.4	51	52	1	2.0
小松倉	242	189	△ 53	△21.9	55	46	△ 9	△16.4
計	4,446	3,896	△ 550	△12.4	1,007	972	△ 35	△ 3.5

グループ紹介

生活改善の向上をめざして

—山古志生改グループ—



山古志地区生活改善グループは、毎年野菜等生産活動はもちろん、簿記の記帳、生活設計の立て方など生活改善の向上をめざし地域に密着した活動を続けています。ことしも反省会を兼ねた生活教室

（料理講習会）が、去る十一月十九日大谷地集落開発センターに於いて開かれ、青木キヨシ会長ほか二十五名は、関係者の指導と助言により調理実習や事業の反省・ミニライザーを使用したグループ活動のあり方、生活設計などの意向調査を実施しました。

このグループは発足以来十五年にも及びその活動も長く、野菜作り等の生産や記帳、生活改善など毎年その実績をあげています。

第二十一回

長岡地方家畜共進会成績

十月十七日長岡地方家畜共進会が開催され、肉用牛の出品十二頭のうち、山古志村より九頭が参加。平均体重は五百六十キロであり体型、資質、肉の仕上りは良好で、

他地区に劣らない成績でありました。

入賞
 二等 坂牧弥太郎（種芋原）
 二等 青木 行雄（池谷）
 三等 小川 三夫（種芋原）

「福祉票」作成にご協力ください

社会福祉活動の充実のために

最近の社会経済活動の変動に伴い、社会福祉に対する要求は複雑高
度化してきており、社会福祉の分野で重要な位置を占めている民生委
員の活動も多様化してきています。
このような情勢のなかで、日常の社会福祉活動をより充実させるた
め、次にかかげる世帯の福祉票を作成することになりましたのでご協
力ください。

- 実施対象者**
- 生活困難者世帯
 - 生活保護法の適用されている世帯
 - 身体障害者世帯
 - 身体障害者手帳を保持している世帯
 - 精神薄弱児者世帯
 - 療育手帳を保持している児者
 - ねたきり老人世帯
 - ねたきり老人のいる世帯
 - 老人と児童のみ世帯

防犯活動の強化 (十二月一日～一月十日)

年末年始を明るくすごそう

- 例年年末年始には各種の犯罪や事故が多発する傾向にあるため、
- 年末年始に発生しやすい犯罪の予防
- 交通死亡事故の防止
- などを重点に防犯活動の強化を推進することになりました。
- お互が警察の防犯活動に協力すると共に自主防犯活動の強化をはかり、年末年始を明るくすごすために次のことを守りましょう。
- 戸締り忘れの一扫
- 隣近所の留守のためみあいの励行
- 各自が防犯診断を実施して欠陥を正にとめる。
- 住宅、事務所、店舗などに多額の現金を置かないようにする
- 防犯ベルなどの科学的防犯施設の設置をすすめる。
- 不必要な刃物は持たない、持たせない。
- 少年に対する愛の一声運動の徹底をはかる。
- 事件事故の一一〇番通報を励行する。
- 家族ぐるみ・地域ぐるみで犯罪や事故を防ぎ、楽しいお正月を迎えましょう。

間接税の

あらまし

寒さも日増しに厳しくなり、周りの木々もすっかり葉が落ち、お酒のおいしい季節となりました。そのお酒にも税金がかかっていることは皆さんもご承知ですね。今回はそのお酒などに課税される間接税について説明してみましよう。

お酒の税金は

酒税は、お酒やビールなどにかかる税金で、製造者が製造場から出荷するときにかかります。酒類は、原料や製造方法により清酒、ビール、ウイスキーなどの十種類に分けられています。

物品税は、宝石、ゴルフ用具、自動車、電気製品など、おもに高級な品物にかかる税金で、製造した工場から出荷する時にかかるものと、小売店で販売される時にかかるものがあります。

税率は、物品の種類ごとに異なる率が定められています。

例えば十八万円のカラーテレビには約一万六千円、九十万円の自動車には約九万円の物品税が含まれています。

なお、ピアノ、テレビなどが社会福祉や教育用に使われる場合には税金が免除される制度があります。

今月の納税	
固定資産税	3 期
国保保険料	5 期
納期は12月25日まで	



なんらかの理由により老人と孫、あるいは児童福祉法で定める児童だけの世帯。

○ 老人のみ世帯

なんらかの理由により老人のみ(夫婦、兄弟姉妹、親子、友人同士)になった世帯。

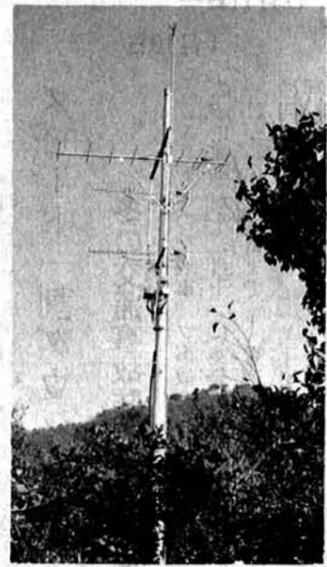
以上の世帯を対象に福祉票を作成し、この後の福祉活動に適正な運営を図ろうと云うものです。近く民生委員の方が「票」作成のため対象世帯を訪問しますのでご協力ください。(住民課)

テレビ難視聴解消

小松倉共同アンテナ完成

東竹沢の三部落は地形上テレビ難視聴地域であったのでNHKに対しその対策を要望していたところ、ことし小松倉地区に共同アンテナの設置がきまり、NHKと地元部落が共同して建設工事をすすめていました。

その後関係者の協力によって去る十一月六日竣工してNHK放送は勿論、民間放送もハッキリ見えるようになりました。



ふるさと大町 (71)

村の鎮守様

山古志郷に、小松倉ありを誇った一時期があった。その小松倉の鎮守様は部落の中心辺りにある。御本尊は「大日如来」でこれも本地垂迹神仏混合の理論から生れたものだろう。元来大日如来には二仏ある。一つは胎藏界大日如来、今一つは金剛界大日如来である。平安時代弘法大師によって招来され真言宗の御本尊とされている。胎藏界の如来はさとり(理)の世界を現わし法界定師坐禪の時手をくむような姿)を結んでいるし金剛界如来は思考(智)の世界を現わす智拳印(手をにぎって重なる)を結んでいる。この部落の鎮守様は金剛界大日如来である。神殿は他部落と違って二階建のもので、二階は公会堂として利用している。境内も広く此処で盆踊り他に使用されたものだろう。鎮守様としていただくイメージとは一寸違った鎮守様である。歴史的には古く由緒ある部落だが、都市経済依存の波はさげられず、豪雪のマイナス面をあってか、全盛期六〇戸の大部落も現在は四十二戸との事、家族ぐるみの退転が多いようだ。

既に、故人となられたという増田滝太郎さんは、「小松倉郷土史」の小冊を著わし、歴史面から古城跡や古寺の事を書かれ、あわせて部落の民族の系流を記している。又、「中山隧道の記録」と、「山古志村合併と奥道池谷―越後広瀬停車場線」などの冊誌を書かれた松崎利得氏が、かつて東竹沢村政の最高責任者の経験の上から、政治面からの苦勞を村民に開陳されている。尚、健在でおられる処から本年七月、その高説を伺いに訪問した。そして野にかけた政治家が此処にも感深くした。更に、八月のお盆なれば部落の有力者で古老の、小川金作氏宅をも訪づれて見た。長い人生経験の一端を話され部落の今昔を物語る。小松倉正保の検地帳が小川昭氏宅に所蔵されている事を知ったのもこの時だった。村会議員は二人選出されており、錚々たる人物が多く存在している印象を受けたが、交通などの立おくれはどうした事だろうと思つた。協力の伝統を誇る住民であったはずであるのに、新道開発は除中で消えている。雪崩の尊い犠牲者もあつた。金剛界智の大日如来何と見るか。